

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 東洋シート

(2) 事業所の所在地

〒736-0002 広島県安芸郡海田町国信1-6-25

(3) 業種

自動車部品付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成25年度から平成30年度までの6年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績				
		上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成30年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー起源CO ₂	4,463	4,240	5.0	4,124	3,717	4,781	4,641	100.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計	4,463	4,240	5.0	4,124	3,717	4,781	4,641	100.0
温室効果ガスみなし排出量								
実績に対する自己評価	平成25年度より自家発電設備を常時運転から非常用へ変更 (ESCO事業者の経済的問題)、電力会社排出係数上昇より大幅に増加。LPGボイラー更新、高効率水銀灯 (43台) へ更新などを実行、今後エアコンプレッサーのインバーター化などを行い溝を埋めていく。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(台)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績				
		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成30年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	11	6	49.0	10.5	8.13	6.5	5.82	100.0
実績に対する自己評価	生産台数が多いと原単位が急激に下がる傾向にある。来年度から原単位が上がる懸念がある為、生産場所の集中などをしていかないといけない。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を5%削減	高効率ボイラーへ更新 又は、小型電気ボイラーへ変更検討 蒸気圧の適正管理 蒸気配管ロス削減
2	電気使用量の削減	電気使用量を7%削減	省エネ照明器具へ更新 インバーター機器の導入 生産場所の集中
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。